

名立区名立小泊地域 避難行動計画【小泊第1～小泊第6町内会（1）】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難する先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
 - ・津波発生時に車いすやリヤカーで避難する要支援者の避難行動を支援します。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年1回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路や避難先の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、速やかに避難目標地点に向かい、状況に応じて、町内または地域ごとにあらかじめ定められた指定緊急避難場所等に向かいます。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○小泊第1町内会 ・浄福寺墓地付近 他 ・日前神社境内・小泊児童遊園
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	○小泊第2町内会 ・小泊コミュニティセンター（2階）
(5) 避難行動要支援者の支援方法	○小泊第3～第6町内会 ・宗竜寺境内付近（小泊第3） ⇒小泊児童遊園へ避難 ・棚の道（空地）（小泊第6） ・日前神社境内・小泊児童遊園
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。	○各町内共通（指定避難所） ・名立地区公民館体育館 ※指定避難所へは、津波警報等が解除されてから移動します。
2 要支援者名簿を自主防災組織で共有しておきます。	4 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。
3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

名立区名立小泊地域 避難行動計画【小泊第6町内会（2）】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

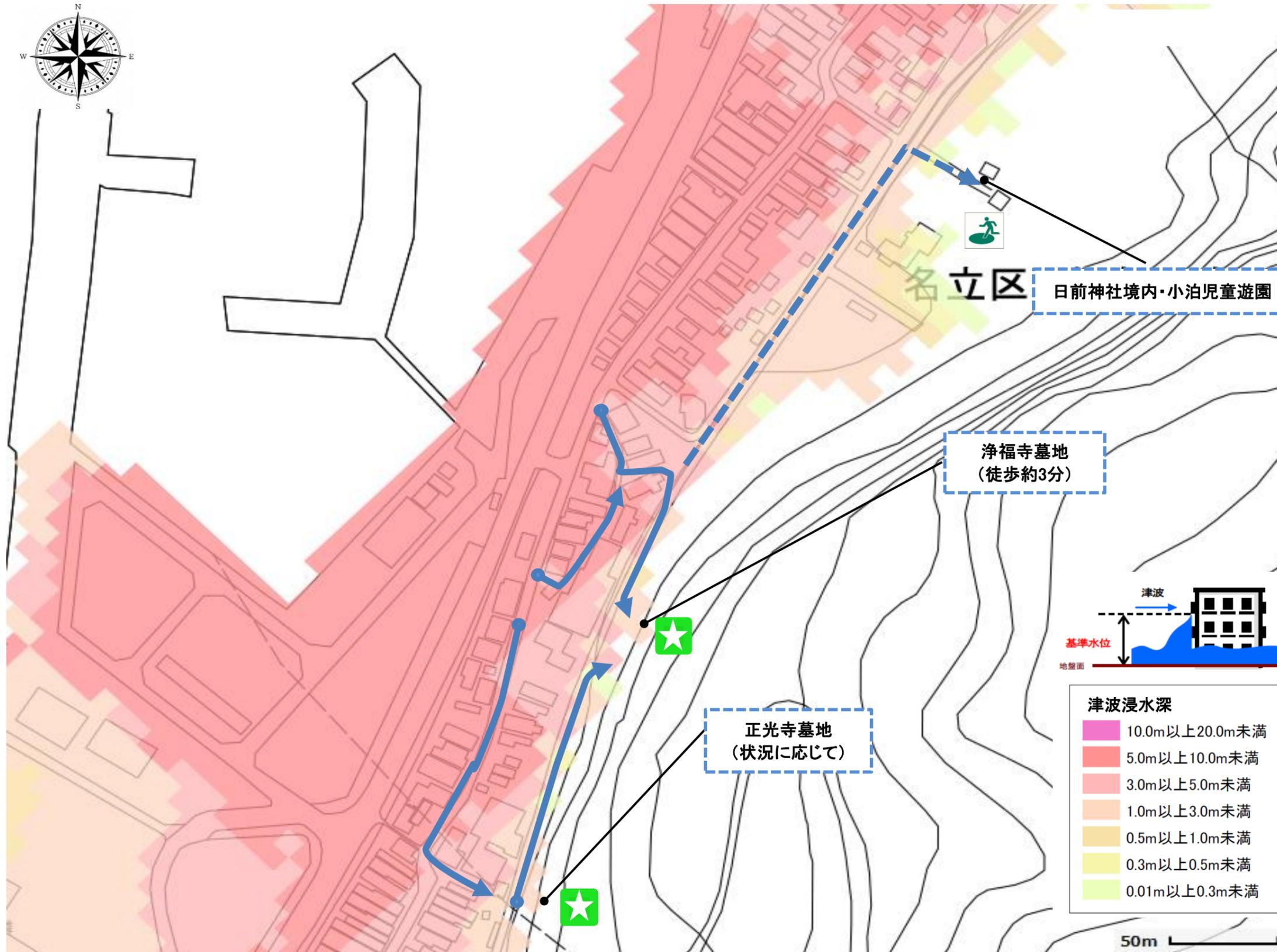
- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難する先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
 - ・町内で津波発生時の初動体制図を作成しています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年1回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路や避難先の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
<p>1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。</p> <p>2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。</p> <p>3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。</p>	<p>1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。</p> <p>2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。</p>
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
<p>1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット上着 等</p> <p>2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等</p> <p>3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等</p>	<p>1 原則として徒歩で避難します。</p> <p>2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。</p> <p>3 原則として、速やかに避難目標地点又は指定緊急避難場所等に向かいます。</p> <p>○避難目標地点 ・県道87号名立谷浜インター線 ・棚の道（空地）</p> <p>○指定緊急避難場所 ・日前神社境内・小泊児童遊園 ※津波警報等の解除後に名立地区公民館体育館に移動します。</p> <p>4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。</p> <p>5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。</p>
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
<p>1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。</p> <p>2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。</p> <p>3 町内で作成した、津波発生時の初動体制図も確認しておきましょう。</p> <p>4 とり近所の家族どうして安否確認をして、お互い助け合いましょう。</p>	



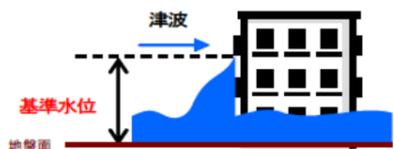
地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

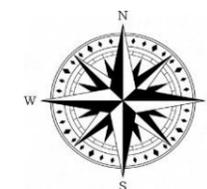
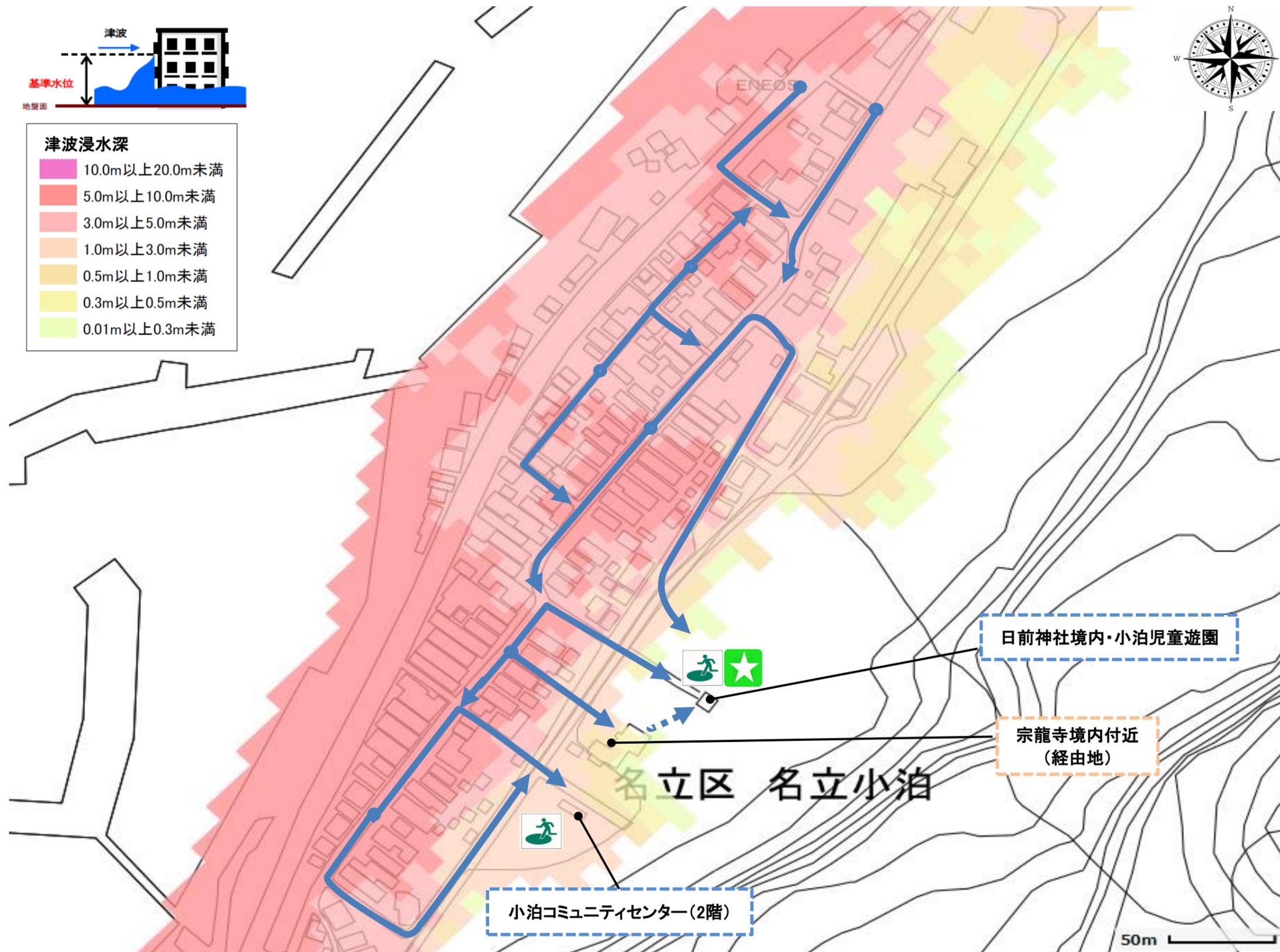
- 避難目標地点
 - ・ 浄福寺墓地付近
 - ・ 正光寺墓地付近(予備)
- 指定緊急避難場所
 - ・ 日前神社境内・小泊児童遊園
- 避難行動の流れ
 - ・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・ 指定避難所(名立地区公民館 体育館)へは、津波警報等が解除されてから移動する。
 - ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
- 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

名立区名立小泊地域 避難行動計画【小泊第2～第6町内会(1)】避難経路図



津波浸水深

10.0m以上20.0m未満
5.0m以上10.0m未満
3.0m以上5.0m未満
1.0m以上3.0m未満
0.5m以上1.0m未満
0.3m以上0.5m未満
0.01m以上0.3m未満

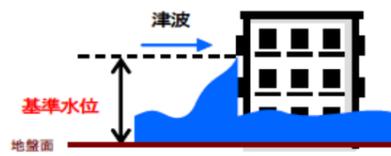


地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

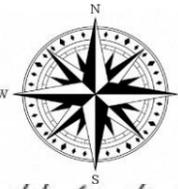
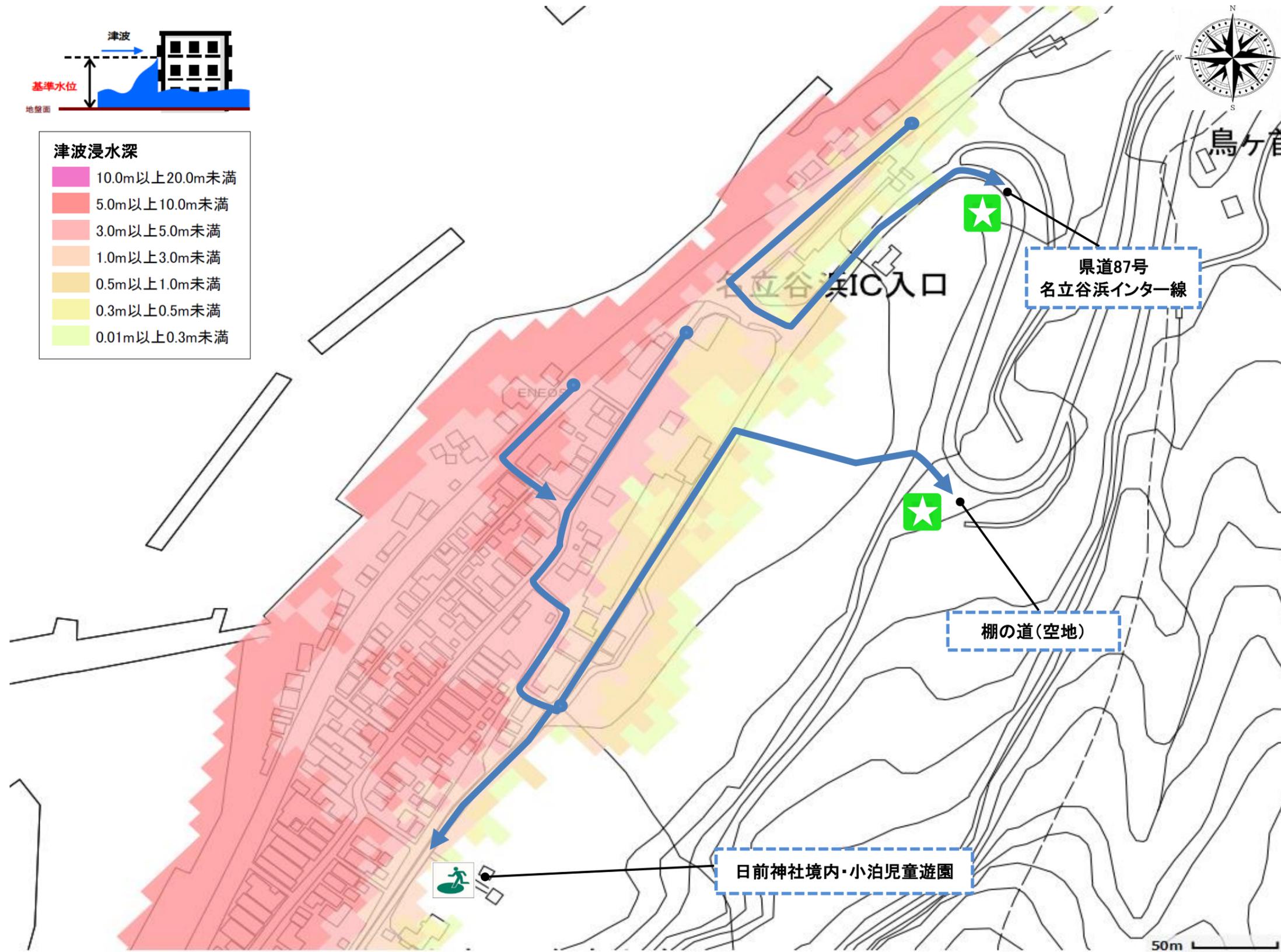
- 避難上の注意点**
- 町内会別避難目標地点
 - ・ 小泊第3町内会
宗龍寺境内付近(経由地)
⇒ 小泊児童遊園へ避難
 - ・ 小泊第6町内会
・ 棚の道(空地)
 - 町内会別指定緊急避難場所
 - ・ 小泊第2町内会
小泊コミュニティセンター(2階)
 - ・ 小泊第3～第6町内会
日前神社境内・小泊児童遊園
 - 避難行動の流れ
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・ 避難目標地点又は指定緊急避難場所を目指し、避難行動を開始する。
 - ・ 日前神社の階段は要支援者が上ることが困難な場合、先に避難した支援者等は状況に応じ、避難行動を支援する。
 - ・ 小泊コミュニティセンターの避難に当たっては、2階に避難する。
 - ・ 指定避難所へは、津波警報等が解除されてから移動する。
 - 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

名立区名立小泊地域 避難行動計画【小泊第6町内会（2）】避難経路図



津波浸水深

10.0m以上20.0m未満
5.0m以上10.0m未満
3.0m以上5.0m未満
1.0m以上3.0m未満
0.5m以上1.0m未満
0.3m以上0.5m未満
0.01m以上0.3m未満



50m

地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

- 避難上の注意点**
- 避難目標地点
 - ・ 県道87号名立谷浜インター線
 - ・ 棚の道(空地)
 - 指定緊急避難場所
 - ・ 日前神社境内・小泊児童遊園
 - 避難行動の流れ
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・ ドライブイン付近の居住者は、国道の交通状況に留意し、県道87号の避難目標地点を目指し、速やかに避難行動を開始する。
 - ・ ドライブイン付近以外に居住する人は、棚の道又は日前神社境内・小泊児童遊園を目指し、避難行動を開始する。
 - ・ 指定避難所(名立地区公民館 体育館)へは、津波警報等が解除されてから移動する。
 - ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
 - 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。